

高木（たかぎ）　光雄（みつお）　議員

駅東側開発事業用地 返還請求された要因は？

町長／短期の賃貸借契約を締結

高木…今年7月の全員協議会で、駅東側開発事業における土地の賃貸借契約に関して、地主より町に対し返還請求を起こされ、法的手段の下で合意を図っているとの報告がありました。

これまで、駅東側開発事業における地権者は何名ですか。そのうち賃貸借契約者数と売買契約者数を伺います。

町長…地権者は44名、賃貸借契約者は1名、売買契約者は38名、未契約者は5名です。

なお、その5名の土地について事業は行っておりません。

高木…返還請求された場所には、清水建設株式会社所有のオフィスビル及び広野町商工会事務所が存在していますが、この両方には、具体的な報告、説明したのか伺います。

町長…復興企画課長が出向いて具体的な説明を行っております。

高木…返還請求を起こされた最大の要因及び調停案をどのように捉えているか伺います。

町長…道路や建物建築を含む土地利用を前提とした契約ではなく、使用期限を10年という短期の賃貸借契約を締結したことに要因があると捉えています。

調停案につきましては、双方の帰責事由に応じた割合で公平なものと捉えています。

火力発電所 廃止ユニットの展望は？

町長／新たな発電施設を要望

高木…株式会社JERA及び広野IGCCパワー合同会社は税収の一番重要な会社です。

両社へ今後、何を一番求めていく考えなのか伺います。

町長…両発電所の安定した操業は、法人町民税や固定資産税といった貴重な税収基盤及び雇用の確保に直結しております。

発電所の円滑な運営と脱炭素に向けた着実な取り組み、これまで要望活動に取り組んできた発電設備のリプレイス、廃止されたユニットエリアの新たな発電施設の展望へ取り組んでまいります。

講演実績 講演の成果は？

町長／町内外で25回実施

高木…町長は、約12年間、町政のトップとして、東日本大震災や東京電力福島第一原発事故後の復旧・復興に取り組んできました。

町長に就任後、町内外での講演回数と延聴講者数を伺います。

町長…講演数は25回、延聴講者数は約1380名です。

高木…講演で町長自らが先頭に立って、何を最も重視して実施したと訴えたのか伺います。

町長…町が締結する学術協定を捉え、本町への支援・協力体制を構築すること、「復興知」事業が継続されること、福島復興の伝承、風評、風化を抑制することです。

高木…町の帰還率は、ここ数年約90％ですが、この数値をどのように捉えているのか伺います。

町長…有事の際、帰還の捉え方について、帰還率90％の数値は、ほとんどの町民が、自らの意志により、一定の理解の下で帰町が成し得たものと重く受け止めております。



西本（にしもと）　久雄（ひさお）　議員

公園維持管理 管理体制の確保は？

町長／省力化の方策を検討

西本…公園は住民の憩いの場・防災時の避難空間として重要であり、管理体制の確保は重要であると考えます。

現在、公園管理について、どのような方法や対応策を講じているのか伺います。

町長…住宅団地等にある小規模な公園については、町有地除草工事及び行政区独自の除草作業、職員等が巡回を行い除草に取り組んでいます。

西本…防草シートや低メンテナンス植物など、省力化・持続可能な方法を検討しているのか伺います。

町長…防草シートは検討している現状にあり、低メンテナンス植物は新たな取組として導入を検討していきます。

西本…ボランティア活動の継続が困難な地域において、代替策や行政支援をどのように考えているのか伺います。

町長…防草シートの敷設など、省力化の方策について検討し、取り組んでいきます。

盛土防災対策 監視・管理体制は？

町長／区域の見回りを実施

西本…町の盛土について、法高10ｍ以上の箇所、同様な施工中の箇所はありますか。

また、監視・管理の体制はどのようになっているのか伺います。

町長…法高10ｍ以上の箇所は町道で3箇所あり、本年度、施工中の箇所はありません。

監視・管理体制として、町道は週2回のパトロールにおいて異常等を確認した場合は補修を行っており、宅地造成は県の開発許可を得て実施し、計画通りに盛土が完了していることを検査しています。

無許可での宅地造成や盛土があった場合は県へ情報提供し、指導いただいています。

西本…盛土規制法の全面施行を踏まえ、町としてどのような基準やチェック体制を整備しているのか伺います。

町長…県の許可申請等の手引きに申請許可の条件、完了検査の実施等、十分な内容が規定されており、町独自の整備は必要ないと考えています。

西本…盛土崩落のリスクを減らすために、どのような追加的対策や監視強化を検討しているのか伺います。

町長…町としては、盛土規制法の許可があった場合には、許可区域を重点的に見回ることとしております。

町長選挙 まちづくりの方向性は？

町長／住みやすい町を創る

西本…次の町長選挙を前に、町民の関心がこれまでの施策の発展や今後のまちづくりの方向性に集まっています。

そこで、これまでの取組みとこれからのまちづくりと、さらに次回の選挙にどのように向き合うのか、町民へ説明いただきたいと思います。

町長…就任以来、広野町の誇りとなる施策、復興事業、火力の町の展望に取り組んできました。

第3期復興創生期間がきわめて重要な復興期間と捉え、〝住みやすい町・広野町〟を創るため、全身全霊、身命を賭して立候補を致す決意であります。

西本…盛土に関する異常や危険性が確認された場合、町としてどのように住民へ迅速な情報提供を行い、避難対応を確実に実施するのか伺います。

町長…大雨など災害が見込まれる際には、優先して見回ることで、住民への迅速な情報提供を行い、避難誘導を確実に実施いたします。